

見事全国制覇！ 国体2連覇に向けて

大島 成幸さん（石田上坪町）
馬場 達也さん（上町）
池田 巧さん（下町2区）

第51回全国高等学校軟式野球選手権大会で、見事全国制覇を果たした作新学院高等学校野球部の馬場達也さん、大島成幸さん、池田巧さんにお話を伺いました。

3人とも作新学院高等学校の2年生で、小学校3年生から野球を始め、小学校のときは、大島さんはしらさぎクラブ、馬場さん、池田さんは上三川クラブでプレーをしていました。現在、作新学院では大島さんはショート、馬場さんはセンター、池田さんはファーストを守っています。

全国大会では、全試合無失点で、見事優勝。準々決勝ではノーヒットノーランを達成し、「守備をしているときには緊張しました。でも、決勝戦が一番辛い試合でした。」と馬場さんは試合を振り返ります。相手チームも準決勝をノーヒットノーランで勝ち上がったチームなので、非常に引き締まった決勝戦になったそうです。決勝戦を見事1対0で勝ったときには、

今月の輝ける星

「あまり実感がわかなかった。」（大島さん）、「うれしくて泣き出してしまいました。」（馬場さん）、「うれしかったです。」（池田さん）と優勝した喜びを語ってくれました。

日々の練習は、朝7時から1時間の朝練と、夕方4時から8時まで、天候に関係なく毎日行われています。

練習は3人とも「辛いです。」と話していましたが、その辛く厳しい練習の成果が実り、昨年の国体出場からチームは公式戦無敗を続けているそうです。

9月30日から兵庫県で開催される国体にも出場が決まっております。国体2連覇へ向けての意気込みを尋ねると、「やるだけのことやるだけです。」（大島さん）、「自分の力を発揮できれば良い。」（馬場さん）、「一生懸命やるだけです。」（池田さん）と熱い思いを言葉少なに語るシャイな高校球児たちでした。



左から池田さん、馬場さん、大島さん



ら仕事ができること、また空気がきれいなところもいいですね。」と話してくれました。

ブロッコリーは、緑黄色野菜の中でも群を抜いて栄養価の高い野菜ですが、特にビタミンA、C、鉄、カルシウムが豊富に含まれています。旬は秋から冬にかけて、これからの時期が野菜本来の力を発揮する時期。ブロッコリーは霜に当たったり、低温の日が続くとつぼみが紫色になりますが、これはポリフェノールの一種であるアントシアニンというもので、抗酸化作用があるといわれています。上野さんも「茹でると緑色になります。甘くておいしいですよ。」と教えてくれました。

これからの目標をお伺いすると「土づくりをきちんとし、おいしい野菜を作ることです。」と語る上野さん。自然と向き合いながら、丹精込めたブロッコリーが、店頭に並ぶのももうすぐです。

わが町の農産物



ブロッコリー編

今月の農産物は、緑黄色野菜として人気の高いブロッコリーを紹介します。

JAうつのみやブロッコリー専門部会長の上野敏光さんにお話を伺いました。

9月初旬に定植されたブロッコリーは、10月中旬から収穫の時期を迎えます。花のつぼみが十分に発育して、ソフトボールぐらいの大きな塊になった時が収穫の目安。契約出荷もしている上野さんのお宅では、朝5時から収穫作業を始め、午前10時までに集荷場へ。その日のお昼には、みずみずしい朝採りのブロッコリーとして店頭と並びます。日ごとに大きくなる花のつぼみを確認しながら、収穫用の包丁を片手に、これから1月まで作業に追われる忙しい日々が続きます。

上野さんが本格的に農業を始めたのは3年前。会社を退職したのを機に、ご両親からバトンタッチされました。農業の良さについて「種をまき、作物が日々成長するのを見なが

